

平成 30 年 1 月 29 日

各 位

いわき信用組合

「サステナブルファイナンス大賞・地域金融賞」を受賞しました

当組合は、このたび一般社団法人環境金融研究機構（「RIEF」、藤井良広代表理事）から「第 3 回サステナブルファイナンス大賞・地域金融賞」の表彰を受けました。

この賞は、環境問題を金融的手法で解決する「環境金融」の普及・啓蒙活動を展開する「RIEF」が、日本の金融市場で環境金融商品・サービス・持続的な取り組みを行なう金融機関等を表彰するものです。

大賞が戸田建設、優秀賞が損保ジャパン日本興亜と三菱UFJモルガンスタンレー証券。当組合は群馬銀行（本店：群馬県前橋市）と常陽銀行（本店：茨城県水戸市）とともに「地域金融賞」を受賞しました。

当組合は、東日本大震災と福島第一原発事故のために大きな影響を被ったいわき市・浜通り地域の農林水産業の復旧・復興のために平成 27 年（2015 年）から「食と 6 次化支援」に取り組んでまいりました。

その過程で、1 次生産者と製造・加工業者をつなぎ商品プロデュースから販路開拓までを一気通貫でおこなう専門機関設立の必要性を痛感し、当組合の経営者交流会＜うるしの実クラブ＞を通して I ターン事業者と地元事業者をマッチングし、共同代表による「地域商社」創業を実現し、同社に対して当組合が運営に携わる「磐城国（いわきのくに）地域振興ファンド」から投資をおこないました。

また、葉物野菜やイチゴなどの栽培環境を先端技術で管理して旬の時期の幅を広げ、付加価値の高い農産物の供給期間を拡大し、収量の増加を図り、その結果として生産者の収入増につなげるシステム「農業クラウド」の開発ベンチャーにも同ファンドから投資を実行しました。

このような実現事例から、解決すべき重大な地域課題である新たな「食の安心・安全」のブランディングと発信を地域のベンチャーとともに協働しておこなっている点を評価いただいた、と考えております。

当組合は、地域経済も、地域の人々の暮らしと営みを育む地域環境の一部と捉えて、その持続可能性を高めるために『当組合が地域のリスクを応分に負担する』決意でリスクマネーの供給を計画しております。

そうすることで新たな事業が生まれ、さらにそれらが連携をすることで地域課題を解決に導いていく。そうした好循環を作り出すためにこれからも金融機能を深化させてまいります。

以 上

*本件に関するお問い合わせは、いわき信用組合地域開発部（☎0246-92-4166）本多、佐藤まで。